

“環境にやさしい”トイレ

富士山に代表される高い山には、水道や電気の設備がないところが多いため、ふだん私たちが使っている水洗トイレとはちがうトイレが設置されています。水道管がないからといってトイレからの排水をそのまま外に流すと、自然をよごしてしまうだけでなく、自然のバランスをこわしてしまうかもしれないので、そのような場所でも安心して利用できる、自然環境への負担が少ないトイレが設置されています。

芳ヶ平湿地群の中にも、下水道の設備がないところがあります。たとえば、芳ヶ平湿原の近くに建っている芳ヶ平ヒュッテには、微生物の働きで排水をきれいにするトイレが設置されています。

ただし、このようなトイレは、建設するのにも管理するのにも多くのお金がかかります。そのため、トイレを利用する人たちに「トイレチップ」というかたちで、トイレにかかる費用の一部を負担していただいています。



しずとうげ
渋峠駐車場のバイオトイレ



芳ヶ平ヒュッテのトイレ

✓ 山のトイレでは
トイレチップに協力しましょう

“湿原”と“人”を守る木道

芳ヶ平湿原やチャツボミゴケ公園などに行くと、木道がしかれています。この木道の上を歩くことによって人が湿原へ踏みこむことがなくなって、湿原の自然を守ることにつながり、同時に、訪れる人たちが自然の中で安全に活動することができるのです。

この木道をつくるには、材料となる木材などをヘリコプターで運んだり、作業を人の手でこなわなくてはならないため、多くのお金と手間がかかっています。



木道工事のようす